



つじ みつこ  
辻 美津子

しみん  
市民クラブ

### 榊原地域の振興への取り組みは

**問** 榊原地域は榊原温泉を核として、これまで活性化へのさまざまな取り組みがなされてきたが、最盛期82万人だった入込客が34万人と落ち込み危惧されている。そのような中、国から地方創生加速化交付金が約3000万円支給されることとなったが、この交付金でどのような事業をするのか。また現在の取り組み状況は。活性化は継続が必要だが、次年度以降の取り組みは。

**答** 事業の内容は、地域の伝統芸能であるかんこ踊りの復活・伝承、温泉の効能を生かした健康をテーマとしたプログラム、農業・森林・歴史・史跡等を活用したツアーの企画など、平成29年度以降に事業を軌道に乗せるための実施計画と組織づくりを行う。現在の取り組み状況は、5月14日に地元説明会が開催され、かんこ踊りについては、道具の保存状況や踊りと演奏の後継者の把握、継承していく方法の検討が始まり、温泉については、効能、医学的調査の準備などに取り掛かっていただいた。次年度以降は、今年度中に、地域で自立した取り組みができるような事業計画、組織づくり、地域内外へのPR等を行っていくことから、市としてしっかりサポートしていく。

### ●その他の質疑・質問●

- 精神障がい者の医療費助成について
- 2級手帳所持者の医療費助成の取り組みは
- 障がい者差別解消法について
- 生活困窮世帯などの子どもの居場所づくりとなる学習支援は
- 住宅の耐震診断・耐震補強は
- 危険薬物から子どもを守る取り組みは
- 組み体操について



榊原第一区かんこ踊り保存会提供

▲市指定無形民俗文化財のかんこ踊り



にし やま  
西山 みえ

けんとう  
県都クラブ

### 平成27・28年度の職務経験者採用を問う

**問** 平成27年度、平成28年度に採用された職務経験者は各所属に分かれて配置されている。民間で培ってきたスキルを余すところなく生かし、津市全体を活性化するために、いかに相互間の連携や意見交換を持ちながら、スキルアップにつなげていくのか。

また今後、気配り、目配り、心配りを忘れずに取り組むための対策は。

**答** 公務員は新規採用後、自然に組織のために働くことを身につける。今、その職員が所属長として、異なる文化のもとで働いてきた職務経験者を部下として受け入れるときに、明快な任務を与え、それを実現していくことが、組織の任務になるということを理解して行動することがとても重要である。このことを所属長、あるいは平成27年度、平成28年度に採用された職務経験者同士の意見交換を行うことにより、再確認することが必要であると考えている。

また、職務経験者の民間企業での働き方と、今の働き方との違いによる戸惑いについて、組織の周りの者がきちんと理解し、十分に配慮しながら、全体として職務経験者の能力を生かしていきたいと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- 津市特定事業主行動計画の目標数値の根拠、今後の数値達成に向けての意識の向上はいかに
- 病後児保育所の開設は津市において2カ所目の待ち望まれた施設。利用の拡大と社会環境の整備をどう考えるか
- 高齢者の低栄養防止・重症化防止推進事業は、3年間で基本的な対応、推進の広域連携を必要とするが考えは



▲利用が待ち望まれる津病後児保育室「HUG」